NPO法人ふじのくに学校給食を考える会

2019年度（第3期）事業計画書

１　事業実施の方針

　学校給食での食育活動支援は、「富士市学校給食地場産品導入協議会」の事業の一つである「農家の出前授業」を中心に、学校給食で使われる地元食材を生かした食育活動のサポートを行う。また、各地の学校給食に関する情報収集、多団体との交流を通じて得た情報等を「富士市学校給食検討委員会」等で反映していく。

　市民への食育啓発事業は、「わくわく食育講座」の開催、「おとな祭り」への参加等を通じて、「食の大切さ」を一般市民に丁寧に伝えていくと共に、「わくわく食育通信」を通じて富士市の学校給食での食育の取組等を富士市内外にPRしていく。

学校給食での地産地消を進めるために、地元生産者、加工業者及び流通業者との異業種連携を支援するため「富士市学校給食地場産品導入協議会」を活用して、視察や意見交換会のサポートや納入業者研修を充実させていく。

　その他「静岡県学校給食ネットワーク」、「ふじ食農体験交流協議会」等、食育に関連している団体と連携することで、食育推進の充実を図る。

２　事業の実施に関する事項

1. 特定非営利活動に係る事業

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 事　業　名 | 具体的な事業内容 | 実施  予定  日時 | 実施  予定  場所 | 従事者  の予定  人数 | 受益対象者の範囲及び予定人数 | 支　出  見込額  (千円) |
| 1. 学校給食での食育活動支援、及び市民への食育啓発事業 | 「富士市学校給食検討委員会」へ委員として参加し、他市の情報提供、視察先のコーディネート等の協力をする。 | 年3回 | 会議：  市庁舎  視察：  県内 | 3人 | 市内小中学生  学校給食担当者  計　約22,200人 | 5 |
| 「富士市学校給食地場産品導入協議会」企画委員長として参加 | 年3回 | 会議：  岳南青果卸売市場  視察：  市内外 | 4人 | 市内小中学生  学校給食担当者  地域生産者、納入業者、約23,000人 | 10 |
| 「農家の出前授業」のサポート | 年10回 | 市内 | 2人 | 市内小学校児童  1000人 | 20 |
| 「わくわく食育講座」   1. お魚さばき講座 2. 本格味覚講座   ③手前みそ作り講座 | 年4回 | 市内のまちづくりセンター | 5人 | 市民  20人×4回 | 20 |
| 「わくわく食育通信」の発行  SNSでの情報発信 | 年2回  随時 | 市内外 | 3人 | 関係各所　400か所  県内外 | ３0 |
| 「おとな祭り」に参加して富士市の学校給食の取組をPRする。 | 11月9日 | 富士市交流プラザ | 5人 | 「おとな祭り」  来場者　700人 | ５ |
| 食物アレルギー相談事業  情報収集  情報発信講座 | 4月14日  1回 | 東京  市内 | 3人 | 一般　20人 | 10 |
| ⑵学校給食での地産地消推進のための異業種連携事業 | 富士市学校給食地場産品導入協議会」の視察、意見交換のコーディネート事業 | 11月 | 市内外の圃場  パークホテル | ４人 | 学校給食職員、生産者、関連事業者等  50人 | ５ |
| 異業種連携のための情報収集事業 | 随時 | 市内外 | 3人 | 市内小中学生  学校給食職員、生産者、関連事業者等23000人 | ５ |
| 納入業者研修事業 | 2月 | 岳南青果卸売市場 | 5人 | 納入業者、関係者　20人 | ５ |
| ⑶その他目的達成のために必要な事業 | 「ふじ食農体験交流協議会」の活動に参加 | 年数回 | 市内外 | 2人 | 農業従事者、大学関係者等  イベント参加者  約500人 | ２ |
| 「静岡県学校給食ネットワーク」の活動に参加 | 年6回 | 市内外 | 2人 | 県内学校給食・食育関係者 | ２ |
| 「富士市食育推進会議」へ委員として参加 | 年3回 | 市庁舎会議室 | 1人 | 市民 | ０ |
| きらり交流会議への参加 | 年4回 | フィランセ | 1人 | きらり交流会議構成員　1300人 | １ |
| 富士市NPO協議会 | 年1回 | 市民活動センター | 1人 | 富士市NPO協議会の構成員  100人 | ３ |

2020年度（第4期）事業計画書

１　事業実施の方針

　学校給食での食育活動支援は、「富士市学校給食地場産品導入協議会」の事業の一つである「農家の出前授業」を中心に、学校給食で使われる地元食材を生かした食育活動のサポートを行う。また、各地の学校給食に関する情報収集、多団体との交流を通じて得た情報等を「富士市学校給食検討委員会」等で反映していく。

　市民への食育啓発事業は、「わくわく食育講座」の開催、「おとな祭り」への参加等を通じて、「食の大切さ」を一般市民に丁寧に伝えていくと共に、「わくわく食育通信」を通じて富士市の学校給食での食育の取組等を富士市内外にPRしていく。

学校給食での地産地消を進めるために、地元生産者、加工業者及び流通業者との異業種連携を支援するため「富士市学校給食地場産品導入協議会」を活用して、視察や意見交換会のサポートや納入業者研修を充実させていく。

　その他「静岡県学校給食ネットワーク」、「ふじ食農体験交流協議会」等、食育に関連している団体と連携することで、食育推進の充実を図る。

２　事業の実施に関する事項

1. 特定非営利活動に係る事業

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 事　業　名 | 具体的な事業内容 | 実施  予定  日時 | 実施  予定  場所 | 従事者  の予定  人数 | 受益対象者の範囲及び予定人数 | 支　出  見込額  (千円) |
| 1. 学校給食での食育活動支援、及び市民への食育啓発事業 | 「富士市学校給食検討委員会」へ委員として参加し、他市の情報提供、視察先のコーディネート等の協力をする。 | 年3回 | 会議：  市庁舎  視察：  県内 | 3人 | 市内小中学生  学校給食担当者  計　約22,200人 | 5 |
| 「富士市学校給食地場産品導入協議会」企画委員長として参加 | 年3回 | 会議：  岳南青果卸売市場  視察：  市内外 | 4人 | 市内小中学生  学校給食担当者  地域生産者、納入業者、約23,000人 | 10 |
| 「農家の出前授業」のサポート | 年10回 | 市内 | 2人 | 市内小学校児童  1000人 | 20 |
| 「わくわく食育講座」   1. お魚さばき講座 2. 本格味覚講座   ③手前みそ作り講座 | 年4回 | 市内のまちづくりセンター | 5人 | 市民  20人×4回 | 20 |
| 「わくわく食育通信」の発行  SNSでの情報発信 | 年2回  随時 | 市内外 | 3人 | 関係各所　400か所  県内外 | ３0 |
| 「おとな祭り」に参加して富士市の学校給食の取組をPRする。 | 11月9日 | 富士市交流プラザ | 5人 | 「おとな祭り」  来場者　700人 | ５ |
| 食物アレルギー相談事業  情報収集  情報発信講座 | 4月14日  1回 | 東京  市内 | 3人 | 一般　20人 | 10 |
| ⑵学校給食での地産地消推進のための異業種連携事業 | 富士市学校給食地場産品導入協議会」の視察、意見交換のコーディネート事業 | 11月 | 市内外の圃場  パークホテル | ４人 | 学校給食職員、生産者、関連事業者等  50人 | ５ |
| 異業種連携のための情報収集事業 | 随時 | 市内外 | 3人 | 市内小中学生  学校給食職員、生産者、関連事業者等23000人 | ５ |
| 納入業者研修事業 | 2月 | 岳南青果卸売市場 | 5人 | 納入業者、関係者　20人 | ５ |
| ⑶その他目的達成のために必要な事業 | 「ふじ食農体験交流協議会」の活動に参加 | 年数回 | 市内外 | 2人 | 農業従事者、大学関係者等  イベント参加者  約500人 | ２ |
| 「静岡県学校給食ネットワーク」の活動に参加 | 年6回 | 市内外 | 2人 | 県内学校給食・食育関係者 | ２ |
| 「富士市食育推進会議」へ委員として参加 | 年3回 | 市庁舎会議室 | 1人 | 市民 | ０ |
| きらり交流会議への参加 | 年4回 | フィランセ | 1人 | きらり交流会議構成員　1300人 | １ |
| 富士市NPO協議会 | 年1回 | 市民活動センター | 1人 | 富士市NPO協議会の構成員  100人 | ３ |